読んでほしいな

ティーンズコーナー　新着図書９月



新しく入った本の中から
ピックアップして紹介します



【物語のある民族衣装　今日も、世界のどこかで】
淵〻/著　国際服飾学会/監修　エクスナレッジ
もしあなたが、遠い国の別の町に生まれていたら、どんな服を着て、どんなことをしていると思いますか？
春の訪れや、夏至の夜、学校の帰り道、市場での食べ歩き……いまこの瞬間にも、世界のどこかで受け継がれる民族衣装の物語を、人気イラストレーター・淵〻がオムニバス形式で描いた一冊。

【君が忘れた物語】 冬野夜空/著　スターツ出版
もしも、大好きな人が、自分のことを少しずつ忘れていったら――？
すべてを忘れられない「超記憶症候群」の瑚子と、病気ですべてを忘れてしまう奏多。突然の音信不通を経て、ふたりはある病院で再会を果たす。
正反対の運命を背負い、過酷な日々のなかで支え合ったふたりの15年間の軌跡を描く、落涙必至の純愛小説。

【「わたし」が死ぬということの哲学】 兼本浩祐/著　筑摩書房
「自分」がなくなるって、どういうこと？ 「体が死ぬ」ことと、「こころが死ぬ」ことは、違うことなのかもしれない。そもそも、今ここで世界を感じている「自分」って一体なに？ 生物学・意識科学・哲学を横断して、根源的な問いに迫る1冊！ 読み終わったとき、あなたの人間観がガラリと変わるはず。

【13 歳からの気候変動適応　暑い時代を生きる】 野田恵・丸山啓史/著　かもがわ出版
「1年の半分は異常気象」という激変した世界をどう生き抜く？ 自分や社会ができる工夫「気候変動適応」をわかりやすく解説した本。身近な熱中症対策から、社会のあり方という視点まで、未来をサバイブするためのヒントが詰まった、今読むべき一冊。



新しく入った本を check!
↓↓
中高生のためのページ「そふぃ YA(やー)!」

柏崎市立図書館蔵書検索「新着資料から探す」